

令和4年度学校評価実施計画

学校名	大分県立中津東高等学校	定時制
-----	-------------	-----

前年度評価結果の概要	<p>○コロナ禍の中、達成指標や取組指標には一部目標をクリアできなかった項目もあるが、重点目標達成につながる実践的な取り組みを次年度も継続していく。</p> <p>○生徒一人ひとりの課題やニーズが多様化・複雑化する中、「適切な指導と必要な支援」を組織的に講じていく体制は、関係機関等に高く評価されている。次年度も外部機関との連携をさらに深めていく。</p>
------------	--

学校教育目標	中期目標	重点目標
<p>自らの夢や希望に向かって、たゆみない努力で挑戦し、国際社会や地域社会に貢献できる心豊かで創造力とたくましさ兼ね備えた人間を育成する。</p> <p>(1)校訓「自立、創造、誠実さ」のもと、商業・工業の専門学科を有する高校として、将来の地域社会を支えるため、挑戦の精神と創造力を持ったスペシャリストとしての産業人を育成する。</p> <p>(2)社会の形成に主体的に参画し、産業人としての職業観・倫理観にあふれた、未来を拓く実践力のある人材を育成する。</p>	<p>①商工併設の専門高校として、県北部人材育成の拠点となる学校をつくる。</p> <p>②多方面への情報発信及び連携を図りながら、地域から信頼される学校をつくる。</p> <p>③豊かな人間性を育み、規範意識が確立した学校をつくる。</p>	<p>①授業改善の推進 ユニバーサルデザインの良さを取り入れた、学びやすい環境の中で学ぶ楽しさを実感させ、実社会に必要な基礎的知識・技能を身につけさせる。</p> <p>②キャリア教育の充実 働く喜びや誇りを育む教育を推進し、個に応じた組織的な指導を行う事で、進路希望を達成させる。</p> <p>③次代を担う人材育成 中津東高生としての品格と自覚を身につけさせることを通して、他者と協働しながら地域社会に貢献できる人材を育成する。</p> <p>④働き方改革の推進 メリハリある働き方により、職員の健康を維持する。</p>

PL:プロジェクトリーダー、SL:サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
①授業改善の推進 ユニバーサルデザインの良さを取り入れた、学びやすい環境の中で学ぶ楽しさを実感させ、実社会に必要な基礎的知識・技能を身につけさせる。	○「授業に関する意識調査」の質問11項目すべてで、生徒の平均ポイントを3.0以上(4点満点)にする。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に「学ぶ楽しさ」を実感させる授業を目指して、タブレット端末を活用、授業力向上と授業改善に生かす互見授業期間(年3回)を設ける。 「高校生のための学びの基礎診断」を実施し、診断結果を各教科で分析、結果を全職員で共有し、授業改善に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末の活用について、学期ごとに実施する「授業に関する意識調査」で進捗状況を確認にする。学期ごと2週間の互見授業週間で年間8回以上授業見学を実施し、アドバイスシートを活用、各教員の授業改善の課題を明確にする。 「高校生のための学びの基礎診断」を1・2年次に行い、診断結果を各教科で分析、全職員で共有することで、授業の授業改善に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> PL:主幹教諭 SL:教務主任 学科主任 授業改善推進チーム
	○欠席・欠課・遅刻・早退の数を前年度比10%減らす。	<ul style="list-style-type: none"> 出席状況改善へ向け、生徒の体調管理に対する意識高揚を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 欠席・欠課・遅刻・早退を無くす取り組みとして、登校時や授業中の声かけを通じて促し、数を前年度比10%減らす。 	<ul style="list-style-type: none"> PL:教務主任 SL:学科主任
	○定時制教育振興会と連携し、就労支援事業を円滑に実施する体制を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との連絡を密にして、卒業年次生全員が、希望する進路を実現出来る様に指導する。 外部関係機関と連携して、個に応じた指導を組織的に行い、希望進路の実現を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ハローワーク等の外部関係機関と連携して、一人一人に適切な指導を行い、卒業までに希望する進路が実現する取り組みを行う。 生徒の特性を考慮した進路(福祉型就労を含む)について、ハローワーク等の関係機関との連絡を密に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> PL:進路指導主任 SL:学科主任
②キャリア教育の充実 働く喜びや誇りを育む教育を推進し、個に応じた組織的な指導を行う事で、進路希望を達成させる。	○一人一人に適切な指導を行い、卒業までの就職内定率と進学合格率を90%以上達成する。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒と保護者へ就労支援事業の趣旨説明を行うとともに、対象生徒には月に1度、職場訪問を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 入学時に振興会の存在をわかりやすく説明する。就労支援対象生徒の職場訪問を月1度実施し、雇用主、担任との情報交換を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> PL:進路指導主任 SL:学科主任
	○定時制教育振興会と連携し、就労支援事業を円滑に実施する体制を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との連絡を密にして、卒業年次生全員が、希望する進路を実現出来る様に指導する。 外部関係機関と連携して、個に応じた指導を組織的に行い、希望進路の実現を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ハローワーク等の外部関係機関と連携して、一人一人に適切な指導を行い、卒業までに希望する進路が実現する取り組みを行う。 生徒の特性を考慮した進路(福祉型就労を含む)について、ハローワーク等の関係機関との連絡を密に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> PL:進路指導主任 SL:学科主任
	○定時制教育振興会と連携し、就労支援事業を円滑に実施する体制を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との連絡を密にして、卒業年次生全員が、希望する進路を実現出来る様に指導する。 外部関係機関と連携して、個に応じた指導を組織的に行い、希望進路の実現を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ハローワーク等の外部関係機関と連携して、一人一人に適切な指導を行い、卒業までに希望する進路が実現する取り組みを行う。 生徒の特性を考慮した進路(福祉型就労を含む)について、ハローワーク等の関係機関との連絡を密に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> PL:進路指導主任 SL:学科主任
③次代を担う人材育成 中津東高生としての品格と自覚を身につけさせることを通して、他者と協働しながら地域社会に貢献できる人材を育成する。	○いじめ行為・いじめの見逃しを0(ゼロ)にするとともに、生徒全員を対象とした面談や支援が必要な生徒に対する相談活動の取り組み実施率を100%にする。	<ul style="list-style-type: none"> 「生徒理解の会」を有効活用する。 いじめアンケートを有効活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学期初めに「面接指導(面談)」と職員全員参加の「生徒理解の会」(年間3回)を開催し、いじめの早期発見・児童虐待発見に努める。 必要に応じて個別支援委員会の開催や外部機関との連携を図り、生徒支援に活かす。 いじめアンケートを年3回実施し、状況を把握するとともに「しない・許さない・見過ごさない」雰囲気をつくる。生徒虐待も視野にいれる。 	<ul style="list-style-type: none"> PL:教育相談主任 SL:保健主任 特別支援教育コーディネーター 教育相談
	○いじめ行為・いじめの見逃しを0(ゼロ)にするとともに、生徒全員を対象とした面談や支援が必要な生徒に対する相談活動の取り組み実施率を100%にする。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との連絡を密にして、卒業年次生全員が、希望する進路を実現出来る様に指導する。 外部関係機関と連携して、個に応じた指導を組織的に行い、希望進路の実現を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ハローワーク等の外部関係機関と連携して、一人一人に適切な指導を行い、卒業までに希望する進路が実現する取り組みを行う。 生徒の特性を考慮した進路(福祉型就労を含む)について、ハローワーク等の関係機関との連絡を密に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> PL:進路指導主任 SL:学科主任
	○いじめ行為・いじめの見逃しを0(ゼロ)にするとともに、生徒全員を対象とした面談や支援が必要な生徒に対する相談活動の取り組み実施率を100%にする。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との連絡を密にして、卒業年次生全員が、希望する進路を実現出来る様に指導する。 外部関係機関と連携して、個に応じた指導を組織的に行い、希望進路の実現を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ハローワーク等の外部関係機関と連携して、一人一人に適切な指導を行い、卒業までに希望する進路が実現する取り組みを行う。 生徒の特性を考慮した進路(福祉型就労を含む)について、ハローワーク等の関係機関との連絡を密に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> PL:進路指導主任 SL:学科主任
④働き方改革の推進 メリハリある働き方により、職員の健康を維持する。	○年次有給休暇年間取得日数を平均15日以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> 教頭から、定期的に取得する旨、職員に呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 教頭から、定期的に取得する旨、職員に呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> PL:教頭 SL:主幹教諭
	○風通しの良い職場づくりを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 職員室を中心に、環境整備に努めるとともに、教頭等からの声掛けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員室を中心に、環境整備に努めるとともに、教頭等からの声掛けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> PL:教頭 SL:主幹教諭